

日時：2025年10月24日（金）午後

場所：広島大学附属幼稚園

研修内容：幼稚園訪問

概要：

今回訪問した広島大学附属幼稚園は、幼児を保育しその心身の調和的発達を助長することだけでなくいち研究機関として大学と連携し幼児教育の発展に寄与することを目的としている。本園における保育の中でも他の幼稚園と一線を画すのは、「遊びを通じて学ぶ」ことで児童の主体性を育むことを目指している点である。それに伴い、本園は森につながる園庭があり児童たちは自然に囲まれた環境の中で自由に遊ぶことが出来る。

今回、JICA 研修参加者 20 名が本施設を訪問し、実際に子どもたちが遊んでいる様子や教室を見学した。2 チームに分かれ、A チームが見学をしている間 B チームの研修員らは本施設に関する資料を基に質問したり、自国のシステムと比較した意見を交わした。就学前教育の無償化が行われているかどうかは国ごとに異なるが、多くの研修員は日本の幼稚園システムが日本でどのように提供されているのかに関心を寄せていた。日本では、就学前教育の無償化が既に施行中であるので多くの子どもの本園のような教育を受ける機会が開かれている点に、多くの研修員が驚いている様子も見られた。

見学を通して、実際に子どもたちが木につるされた遊具で遊ぶ様子や木での工作物などを見ることで、研修員たちは遊びを通じた学びについての理解を深めた様子であった。



日時：2025年10月24日（金）午後

場所：八本松中学校

研修内容： Visit Hachihonmatsu Junior High School

概要：

5つの班に分かれ、八本松中学校の授業観察を行った。観察を行った時間には、3年生が進路学習、その他の学級が体育、美術、理科、英語、地理、数学を行っていた。研修員が特に興味を示していたのが、特別支援学級で「どうしてほかの生徒と一緒に授業を受けないのか」「特別支援学級には3人の生徒がいるのに、この時間には一人しかいないのか、他の生徒はどこに行っているのか」等、支援が必要な生徒に対する対応や、教育の方法などに興味を示していた。他には、廊下や階段の踊り場にある掲示物についても興味深く観察を行っていた。今回観察した授業の内、数学、理科、体育、美術の授業でノートパソコンを使用していたことに関して、日本の中学校のICTの普及率についても説明を受けた。

授業後は掃除観察を行い、掃除前の休憩時間には、八本松中学校の生徒らと会話をする場面も見受けられた。

観察後は、教頭先生から八本松中学校の概要についてご説明いただき、その後、質疑応答を行った。質疑応答の内容としては、「中学校のいじめの現状とその対策について」「教員の評価方法について」「コミュニティスクールとはどのようなものなのか」「授業で使用されたデジタル教材について」等、学校という組織に関する質問から、授業づくりや学習環境に関することまで様々であった。

